

歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル
クリニック



知ってる?

歯のプロフェッショナル

—福山・備後の地元誌Winkに掲載されました—



創刊30周年を迎えた地元の情報誌Winkの2015年6月号に「歯のプロフェッショナル」として掲載されました。

「歯のプロフェッショナル」ってどういうこと?って思われるかも知れません。歯医者さんは皆、「歯のプロフェッショナル」じゃないの?と思われる方もいるでしょう。ここで言うプロフェッショナルとは、医科で例えるなら産科、婦人科、小児科、内科、外科などの聞きなれた専門の診療科がありますが、同様に歯科にも専門の診療科があり、専門医という資格をもった歯医者さんのことを指します。

歯科の診療科も実は分かれています。例えば聞きなれたところでは、矯正歯科や小児歯科などありますよね。実際には歯科は「保存科」「補綴科」「口腔外科」が主要な3科としてあげられます。

「保存科」では口の中で回復力によって治る診療がメインで、歯周病の治療などが分かりやすいでしょう。

「補綴科」とは虫歯などで歯が欠けたり失われたりした場合、銀歯や白い歯などの被せ物、ブリッジ、入れ歯、インプラントの治療など、人工物で補う治療が専門です。

「口腔外科」は残せなくなった歯や親知らずを抜く治療が理解しやすいかと思います。

この3科を筆頭にいろいろな診療科がありますから、歯科

の大学病院に行けば、当然、「歯科」という診療科は無く、「保存科」「補綴科」「口腔外科」などの診療科に、必要に応じて行き来するわけです。

医科の大学病院にも「医科」という診療科はなく、産科、婦人科、小児科、内科、外科…といったように分かれているのと同じことなのです。

そして、それぞれの診療科には各学会で認められた「専門医」といわれる医師や歯科医師がいます。

「〇〇〇〇学会会員」という肩書きは、各学会申請すれば歯科医師なら誰でもなれます。

「専門医」とは「〇〇〇〇学会会員」と違い、学会で研究や発表、論文などの実績を重ね、治療技術の証明を行い、試験に合格し、その治療の専門であると認められて初めてなることができます。

では、どのくらいの数の専門医がいるのでしょうか?

歯科診療所は全国に約68,000軒あり、その中で「保存科」「補綴科」「口腔外科」の主要な3科+αの専門医のいる歯科診療所は1,640軒で、福山近郊では8人の専門医がおり、その中で4人が「補綴科」の専門医の歯医者さんになります(『週刊朝日MOOK いい歯科医 2014』より)。

このように、歯医者にも一般の医者がそうであるように、専門医というプロフェッショナルとも言える人たちがいますが、一般の患者さんには、まだまだ知られていないと思います。

そうした中で、今回、地元の情報誌Winkの2015年6月号に「歯のプロフェッショナル」と

して専門医について掲載していただきました。専門的な知識、技術を持った歯科医師として紹介されたのです。

これをきっかけとして、福山近郊の患者さんに、医科だけでなく、歯科にも専門科があるということを知っていただけたらと思います。

病院に行く際の専門科を選ぶように、歯科でも困ったとき、よりきれいに治したいと思うときは、保険、保険外の診療問わず、専門科を受診してみたいかですか?

さて、専門医についての詳しい話は、実は前回『週刊朝日MOOK いい歯医者 2014』に選出されている記事を書いていますので、興味のある方は、当クリニックのホームページからバックナンバーを読むことができますので、よかつたら参照してください。

<http://koike-dentalclinic.com>

院長 小池秀行

歯学博士 日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。

社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>